THE SMILE TIMES

スマイルタイムズ

No，１６３

平成２１(2009)年１０月２１日（水）発行

発行者　小浜市多田2-2　中山クリニック　院長　中山茂樹

http:www.nakayama clinic.jp

ものは考えよう

総務　**松井　正**

よく、ものは考えようによって楽しくもなれば苦しくもなる、喜んだり腹が立ったり、そこに意義を見つけたり見つけられなかったりする、と言われます。

「正法眼蔵随聞記（しょうぼうげんぞうずいもんき）」という鎌倉時代の書は曹洞宗（そうとうしゅう）永平寺の開祖道元（どうげん）の弟子懐奘（えじょう）が師の法語を忠実に記録したものです。

その中の第一章の７話に

“恵心僧都（えしんそうず）はある日、寺の庭に入って草を食べる鹿を打って追い払った。それを見た人が「お師匠様は慈悲の心がない」と言った。それに対し恵心僧都は「私が打って追い払わなかったなら鹿は人に慣れ、いつか悪い人間に殺されるだろう。だから、人間に近寄るなと諭したのだ」と答えたという話があります。

一見、無慈悲に見えることでも、その奥に深い慈悲、思いやりが存在することはあるものでしょう。親が子供を叱ったりするのも子供の将来を思うからこそ、と言えるのが多いと思われます。仮に、本人は実は慈悲がなく、私情で怒ったとしても、先の鹿に対しても単に庭を荒らされるのが嫌で打ったとしても、考えよう、捉え方で自分に良い結果をもたらしてくれる事柄というものは人の世で多いのじゃないかと思われます。

私の知人で、自分の名刺の裏に大きな字で「人に叱られたら 1000 円払いましょう」と書き込んだのを会う人ごとに渡している男がいました。かって県会議員をしていたことのある、なかなかユニークな男で、いつも「多くの者は叱られると怒ったり、恨んだりするが、自分を叱ってくれる人はなかなか無いもので本当に有り難く思わにゃいかんのや」と言っておりました。

それからまた、その行為はどんな意味で行なっているか、行なったかをきちんと人に説明できるかどうかも非常に大事なことです。最近よく「説明責任を果たしていない」といったような言い方をしますが、意味づけで、その行為が随分人には違って受け取られます。

新しく政権をとった民主党の政策の、高速道路の無料化や農家の損失補填はどんな見通しや意味づけかは異論のあるところだとは思いますが、「子ども手当」（中学卒まで子供一律 26000 円／月の手当）は私にとっては意義づけがよく分からなかったので、年収何千万円もある家庭に必要無いんじゃないかと思っていたのでしたが、先日、ある論文で「子供は国の宝である。よって誰の子であるかは問わずに、国民みんなで育てる費用を分かち合うべきものなのだ」というのを読んで、なるほどな、これならよく分かると思ったものです。よって子供のいない家庭に負担がかかっても仕方がないな、とも思ったものです。説明されると分かる例です。

子 供 と 祭 り

看護助手　**池田美智代**

９月１９，２０日の小浜の放生祭りは山車（やま）や太鼓、獅子など色々な出し物で賑わいます。市内は１ヶ月も前から子供も大人も祭りの稽古に取り組むのですが、各区内では年々子供の数が減り、区外に住む子供でも、その区に縁があると参加することができるようになりました。

私の家族も区外に住んでいるのですが、主人が今宮区の出なので、子供３人も保育園の年中からずうっと今宮区の山車に参加させてもらっていて、今年も一番下の４歳の息子が出ることになりました。この子は人前に出るのが苦手な上、人見知りの強い子です。だから稽古場に入ることすら出来ず、私を手こずらせました。ところがある日、息子と同年の男の子が「名前はなに？」と声を掛けてくれたのです。それがきっかけでその子と友達になり、小太鼓の練習ができるようになりました。

しかし、今度はなかなかうまく叩くことができず、家でも練習させようとビデオを見せるのですが、思うように練習してくれません。しかし、親が言ってだめでも、稽古場でよそのおとなの人に指導されると少しずつ上達していきました。

祭りの当日、山車は子供達を乗せ町を練り歩きました。出し物同士が出会うと太鼓の打ち合いになり、祭りは盛り上がります。息子は２日間で６回山車の前の張り出しに出て、小太鼓をたたき、みんなから大きな拍手をもらって嬉しそうでした。

４歳の息子はこの祭りを通して、多くの人と出会い、友達と仲良しになり、おとなの指導を得て良い経験ができちょっと大きくなったように思いました。人はやはり社会の中で成長するものだとつくづく思ったことでした。

… … … … … … … … …

《あとがき》当院待合室ミニギャラリーでは**中森あゆみ**さん（若狭町杉山）のアクリル画です。10 月から差し替えました。